

総務

一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	3,315,899,000 円 (市予算 3.2%)
一 般 会 計 総 予 算	102,774,000,000 円
消 防 職 員 定 数	320 人 以 内
市 職 員 定 数	2,849 人 以 内
人 口 (委 託 2 町 含 む)	337,976 人
人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区	27,475 人
人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区	3,407 人
消 防 車 両 等	
(常 備) はしご自動車	2 台
化学消防自動車	3 台
水槽付ポンプ自動車	7 台
消防ポンプ自動車	6 台 (救助工作機能付1台含む)
小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
大型化学高所放水車	1 台
はしご機能付高所放水車	1 台
泡原液搬送車	2 台
救助工作車	2 台
高規格救急自動車	12 台
その他車両	39 台
(非常備) 消防ポンプ自動車	25 台
水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	1 台
資機材搬送車	2 台
参 考 (受 託 2 町 非 常 備)	
(朝日町) 消防ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	4 台
小型動力ポンプ	1 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	
(川越町) 消防ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	11 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	

平成23年度・24年度消防費歳出予算(当初額)

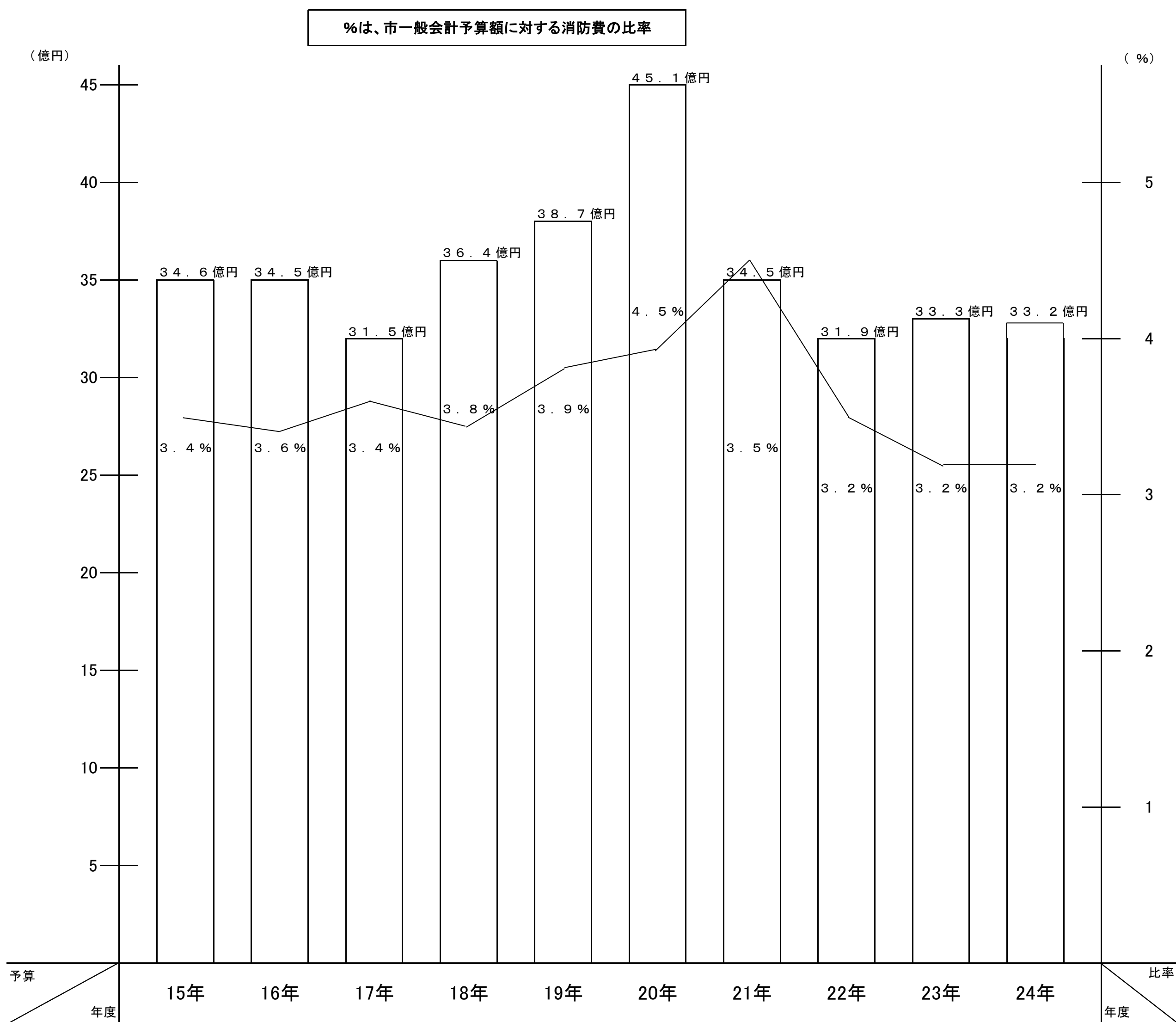
(千円)

款 項 目	節	平成23年度	平成24年度	比較増△減
消 防 費		3,326,125	3,315,899	△ 10,226
消 防 費		3,326,125	3,315,899	△ 10,226
常備消防費		2,966,893	2,981,659	14,766
	給 料	1,165,642	1,195,227	29,585
	職 員 手 当	1,076,213	1,062,355	△ 13,858
	共 濟 費	386,881	408,866	21,985
	賃 金	1,284	1,284	0
	報 償 費	24,921	21,875	△ 3,046
	旅 費	6,021	5,871	△ 150
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	115,076	93,091	△ 21,985
	役 務 費	8,964	9,550	586
	委 託 料	76,479	72,780	△ 3,699
	使用料及び賃借料	6,010	5,592	△ 418
	工 事 請 負 費	300	400	100
	原 材 料 費	133	133	0
	備 品 購 入 費	2,670	4,146	1,476
	負担金補助及び交付金	78,753	82,944	4,191
	補償補填及び賠償金	17,501	17,500	△ 1
	公 課 金	45	45	0
非常備消防費		132,458	133,320	862
	報 酬	17,495	17,495	0
	共 濟 費	1,178	1,178	0
	災 害 補 償 費	2,000	2,000	0
	報 償 費	8,037	7,557	△ 480
	旅 費	69,455	71,173	1,718
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	11,109	10,880	△ 229
	役 務 費	4	4	0
	委 託 料	1,634	1,699	65
	使用料及び賃借料	704	497	△ 207
	工 事 費	0	162	162
	備 品 購 入 費	63	63	0
	負担金補助及び交付金	20,778	20,612	△ 166
	補償補填及び賠償金	1	0	△ 1
消防施設費		225,114	195,843	△ 29,271
	需 用 費	0	76	76
	役 務 費	691	471	△ 220
	委 託 料	4,311	990	△ 3,321
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工 事 請 負 費	19,466	42,231	22,765
	原 材 料 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	200,646	152,075	△ 48,571
	負担金補助及び交付金	0	0	0
水 防 費		1,660	5,077	3,417
	報 償 費			0
	旅 費			0
	需 用 費	350	250	△ 100
	委 託 料	650	3,003	2,353
	工 事 請 負 費	0	1,067	1,067
	原 材 料 費	660	757	97
	備 品 購 入 費			0
	負担金補助及び交付金			0

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費 (千円)	人口 (人)	世 帯	1人当り額 (円)	1世帯当り額 (円)
平成20年度	4,511,057	335,660	133,052	13,439	33,904
平成21年度	3,446,055	336,930	135,071	10,228	25,513
平成22年度	3,190,271	337,451	136,199	9,454	23,424
平成23年度	3,326,125	338,041	137,504	9,839	24,189
平成24年度	3,315,899	337,976	138,537	9,811	23,935

過去10年間の消防費の推移



消 防 職 員 の 推 移

(平成24年4月1日現在)

年 度 別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
定 員	320	320	320	320	320	
実 員	消防吏員	313	315	315	315	314
	その他の職員	1	1	1	1	
	合 計	314	316	316	316	314
消防職員定員増減	0	0	0	0	0	

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成24年4月1日現在)

階 級 別			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
資 格 種 別											
自 動 車 免 許	免 許	大 型	221		2	12	25	69	87		26
		け ん 引	9			1	6	1			1
		大 型 特 殊	11			2	1	3	5		
自動車整備士			5					3	2		
海技士 (航海)			2			1	1				
海技士 (機関)			1			1					
小型船舶操縦士1級			13			1	4	4	3		1
小型船舶操縦士2級			34		1	3	4	8	13		5
小型移動式クレーン			236		2	8	18	43	88		77
玉掛資格			294		4	14	27	69	103		77
ガス溶接資格			266		1	9	22	63	101		70
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士		8				2	2	3		1
	レーダー級海上特殊無線技士		4				2	1	1		
	第2級陸上特殊無線技士		307		7	18	28	71	106		77
救 急	救急I課程		49		5	8	17	13	6		
	救急II課程 (標準課程含む)		267		1	7	20	62	101		76
	救急救命士		54		1	3	8	12	26		4
応急手当指導員			312		7	18	29	74	107		77
衛生管理者			18		2	8	4	4			
第2種酸素欠乏危険作業主任者			43			4	13	21	3		2
潜水士			33				1	6	19		7
予 防 技 術 資 格 者	防火査察		36		4	9	9	10	4		
	消防用設備		19			3	6	7	2		1
	危険物		29		5	6	6	8	3		1
危 険 物 取 扱 者	甲種		8		2	2			3		1
	乙種		186		2	6	9	22	72		75
消 防 設 備 士	甲種		10		1	3		3	3		
	乙種		11			3	1	3	4		
防火対象物点検資格者			4		1		1	1	1		
非破壊検査技術者			1						1		

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成24年4月1日)

階級別		合	消	消	消	消	消	消	消	消	消	事
所属別		計	防	防	防	防	防	防	防	防	防	務
			正	監	司	司	司	士	副	士		吏
			監	監	長	令	令	長	士	長		員
合計		320[1](9)<13>⑮	1	7	17[1]	30(1)	75(1)②	107(1)<7>③			83(6)<5>	①<1>
消 防 本 部	消 防 長	1	1									
	副 消 防 長	1		1								
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1							
	小 計	18(9)②<1>		1	1	2(1)	5(1)	3(1)①			6(6)	①<1>
	総務課											
	課 長	1		1								
	課 長 補 佐	1			1							
	総務課 付	9(9)				1(1)	1(1)	1(1)			6(6)	
	総務係	4				1	2	1				
	装 備 係	3					2	1				
	課 員	②<1>						①				①<1>
	小 計	22②			2	4	5①	10			1	
	消防救急課											
	課 長	1			1							
	課 長 補 佐	1			1							
警 防 係	15				1	4	10					
地 域 安 全 係	2①				1	1						
救 急 救 命 室	3				2					1		
消防救急専門官	①						①					
センター												
防 災 教 育												
小 計	④						①					
所 長	①						①					
所 員	③											
予 防 保 安 課												
小 計	15①			2	1	4	7①			1		
課 長	1			1								
課 長 補 佐	1			1								
予 防 係	3①				1		2①					
保 安 係	5					1	3			1		
安 全 指 導 係	5					3	2					
情 報 指 令 課												
小 計	15			3	1	8	3					
課 長	1			1								
課 長 補 佐	3			2	1							
指 令 係	11					8	3					
中 本 署												
小 計	109[1](7)②		1	4[1]	8	23	36<4>①			37<3>		
計	60[1](4)②		1	[1]	6	12	20<2>①			21<2>		
署 長	1		1									
副 署 長	[1]			[1]								
指 導 係	4<1>				1	1	1			1<1>		
消 防 救 助 係	43				3	10	12			18		
救 急 係	12<3>				2	1	7<2>			2<1>		
防 災 指 導 員	①						①					
防 災 指 導 員 (現 地 要 員)	①											
中 央 分 署												
計	31<3>			2	1	5	11<2>			12<1>		
分 署 長	1			1								
副 署 長	1			1								
分 署 員	29<3>				1	5	11<2>			12<1>		
西 分 署												
計	16			1	1	6	4			4		
分 署 長	1			1								
分 署 員	15				1	6	4			4		
港 分 署												
計	2			1			1					
分 署 長	1			1								
分 署 員	1						1					
北 消 防 署												
小 計	76<3>②			3	7	18	24<2>			24<1>		
計	56<4>②		1	1	6	9	20<2>			19<2>		
署 長	1		1									
副 署 長	1			1								
指 導 係	3<1>				1		1			1<1>		
消 防 係	39<2>				3	7	12<1>			17<1>		
救 急 係	12<1>				2	2	7<1>			1		
防 災 指 導 員 (現 地 要 員)	②											
朝 川 分 署												
計	19			1	2	6	8			2		
分 署 長	1			1								
指 導 係	2				1					1		
消 防 係	16				1	6	8			1		
南 消 防 署												
小 計	57<1>②		1	1	5	14	19<1>			17		
署 長	1		1									
副 署 長	1			1								
指 導 係	4<1>				1		2<1>			1		
消 防 係	39				3	11	11			14		
救 急 係	12				1	3	6			2		
防 災 指 導 員 (現 地 要 員)	②											
市 長 部 局 へ 出 向	6		2	1	1	1	1					

() は派遣職員および消防学校入校予定職員、<> は女性消防吏員をそれぞれ内数で表し、[] は兼務である。
○数字は再任用職員及び嘱託職員数

消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成24年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	320	1	7	17	30	75	107	0	83	0
18	1								1	
19	2								2	
20	2								2	
21	2								2	
22	4								4	
23	3								3	
24	6								6	
25	7						2		5	
26	8						2		6	
27	16						3		13	
28	15						5		10	
29	17						5		12	
30	18						8		10	
31	8						3		5	
32	10						9		1	
33	9						8		1	
34	5						5			
35	10					1	9			
36	11					3	8			
37	8					4	4			
38	7					6	1			
39	9					6	3			
40	11					7	4			
41	12				1	6	5			
42	8				1	3	4			
43	11					3	8			
44	12				1	4	7			
45	4					2	2			
46	5				3	2				
47	8			2	4	1	1			
48	5			1	1	3				
49	3				1	1	1			
50	8				5	3				
51	7			3	2	2				
52	2					2				
53	9			4	3	2				
54	5		1	3		1				
55	12		1	3	3	5				
56	4		2		1	1				
57	8		1		3	4				
58	4		2			2				
59	3			1	1	1				
60	0									
61	1	1								
62	0									

(出向職員含む)

平均年齢 38.3 歳

消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(平成24年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	320	1	7	17	30	75	107	0	83	0
0～1	6								6	
1～2	4								4	
2～3	6	1							5	
3～4	18								18	
4～5	28						1		27	
5～6	20						6		14	
6～7	13						10		3	
7～8	13						10		3	
8～9	8						7		1	
9～10	7						7			
10～11	9						7		2	
11～12	7					1	6			
12～13	7					1	6			
13～14	4					2	2			
14～15	14					4	10			
15～16	4					2	2			
16～17	11					4	7			
17～18	7					5	2			
18～19	6					4	2			
19～20	12				1	7	4			
20～21	27				3	12	12			
21～22	5					2	3			
22～23	4				1	2	1			
23～24	3					3				
24～25	0									
25～26	8			2	2	3	1			
26～27	2			1			1			
27～28	0									
28～29	3			1	2					
29～30	7			3	2	2				
30～31	10		1	2	3	4				
31～32	10			1	6	3				
32～33	13		2	1	5	5				
33～34	8		2	2	3	1				
34～35	4					4				
35～36	5			3	1	1				
36～37	3		1	1		1				
37～38	2				1	1				
38～39	0									
39～40	1					1				
40～41	1		1							
41～42	0									

(出向職員含む)

平均勤続年数 15.5 年

消 防 車 両 配 置 状 況

(平成24年4月1日現在)

区分		所属別											合計	消防団
		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	西南出張所	防災教育センター		
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	-	5	25
	救助機能付消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	1	1	-	1	-	-	7	1
	化学消防ポンプ自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
高規格救急自動車		-	3	1	1	-	2	1	1	2	1	-	12	
そ の 他 の 車 両	指揮車	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	4	
	支援車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	4	2
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	広報車	5	1	1	1	1	1	1	-	1	-	-	12	
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	5	
	乗用車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3		
合計		15	14	7	5	2	12	4	2	12	2	1	76	29

消防用資機材配置状況

(平成24年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		31	15	15		37	12	27	137
酸素呼吸器		5				5			10
エンジンカッター		2	1	2		2	1	2	10
高発泡器		1				2			3
大容量泡放射砲 (1S)		1				1		1	3
可搬式放水銃		5	1	2		2	1	2	13
耐熱服		6				4		6	16
ガス測定器	1	9	1	1		7	1	3	23
各種測定器	4	1				2		1	8
救命ボート		3	1			1		1	6
油圧切断機		3				2		1	6
チェーンソー		2				2	1	1	6
ボートパワー		1				1			2
救命索発射銃		1				1		1	3
ガス溶断器		1				1	1	1	4
発動発電機		7	5	3	2	7	2	3	29
排送風機		2	1	2	1	4	1	1	12
エアーソー		2	1	1		2		1	7
救助幕		1							1
油圧スプレッター		1				1		1	3
マット型空気ジャッキ		7				5		2	14
削岩機		1				2		1	4
耐電衣		5				5		3	13
防毒衣		3				2		7	12
マンホール救助器具		1				1			2

高度救助用資機材

画像探索機 1型		1				1			2
画像探索機 2型		1				1			2
熱画像直視装置		1	1			1		1	4
地中音響探知機		1							1
夜間用暗視装置		2							2
エアーラインマスク		1							1
地震警報器		1				1			2
オイルフェンス	10								10
潜水器具					29				29
高圧空気充てん機		1			1				2

救急用資機材配置状況

(平成24年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	6	3	3	1	6	2	7	29
AEDトレーナー	4	7	3	2		5	5	6	32
指導用訓練人形 成人	7	14	5	9		13	12	17	77
小児	5	5	5	6		5	5	6	37
乳児	5	5	5	5		5	5	5	35
救急隊員教育訓練人形		1	1			1	1	1	5

平成23年度職員研修実施状況

研修別	研修名	研修日	計(人)
派遣研修	1 消防大学校 救助科 火災調査科 高度救助・特別高度救助コース	8/22-10/12 10/18-12/7 2/13-2/24	1 1 1
	2 三重県消防学校 初任科 (48期) 救急科救急課程 (14期) 現場指揮研修 警防科警防課程 (23期) 火災調査課科火災調査課程 (14期) 救助科水難救助課程 (11期) 救助科救助課程 (21期) 特殊災害科特殊災害課程 (4期) 上級幹部科 (4期) 中級幹部科 (20期) 初級幹部科 (33期) 薬剤投与講習	4/07-12/1 9/29-11/24 6/27-28 12/5-12/16 12/7-12/20 5/23-6/3 10/3-11/2 3/8-3/16 12/19-12/22 11/9-11/17 2/27-3/9 1/5-2/9	4 4 1 3 5 2 3 3 3 3 3 5
	3 救急救命士養成所 救急救命東京研修所 (前期) 新規養成 救急救命東京研修所 (後期) 新規養成 名古屋市救急救命養成所 新規養成	4/4-10/7 9/8-3/19 9/5-3/23	3 1 1
	4 全国市町村アカデミー 防災と危機管理～減災と災害対応力の向上～ 住民とのコミュニケーション 情報公開と個人情報保護 人材育成と研修～人材育成リーダーの養成～	4/4-10/7 8/30-9/7 9/27-10/5 11/8-11/18	1 1 1 2
	5 国際文化研修所 消防職員コース 不当要求・行政対象暴力への対応 職場におけるメンタルヘルス～職場復帰への支援～ 未曾有の震災を教訓に災害対策の見直しを 緊急時における情報発信のあり方～クライシス・コミュニケーション～	5/25-6/10 9/7-9/9 10/24-10/26 2/1-2/2 2/29-3/2	1 1 1 2 1
	6 市職員研修所が企画する研修 新任係長級職員研修 新任課長補佐級職員研修 新任課長級職員研修 準管理職候補者研修 管理職候補者研修 ステージ①39歳研修 ステージ②49歳研修 ステージ②54歳研修 自治会館組合「情報処理研修」 〃「コミュニケーションマインド向上研修」 〃「職場の活性化を考えるセミナー」 〃「プレゼンテーションスキル研修」 四市合同研修	5/10, 23, 27 5/11, 24, 30 5/12, 26, 31. 6/30 5/20, 7/15, 8/1 7/12, 19, 22, 8/4, 5, 10/19 7/5, 26 7/7, 28 7/8, 29 7. 27, 8/1, 2, 9, 29, 9/2 1/11 11/16 1/19, 20 11/24	8 6 4 3 6 1 2 1 1 1 1 1 1 2
	7 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会 火災調査研究発表会 消防長研修会 違反是正研究会 企業防災対策指導者研修会 救急コ・メディカルセミナー 鉄道災害事故救助講習会	10/20 8/26 11/16 2/14 11/14 12/17	4 1 5 1 4 2
	8 三重県消防長会が関係する研修 違反是正研修会 違反是正に関する事例演習会 J P T E Cプロバイダーコース スタティックロープレスキューセミナー 消防長研修会	8/23 2/3 12/22 10/24, 25 8/5	3 2 2 1 5
	9 危険物セミナー 事故防止対策セミナー 保安技術講習会 事故事例セミナー 屋外タンク実務担当者講習会	10/28 7/28, 29 2/17 11/25	1 2 1 1
	10 その他派遣研修 日本救急医学会中部学術集会(第13回) 調査技術会議 新規採用職員研修 救急救命士就業前病院研修 救急救命士気管挿管病院実習 救急救命士薬剤投与病院実習 救急科救急課程修了後病院研修 昇任予定者研修	6/26 7/29 4/1-6、5/2、9/12 4/6-6/13, 10/11-11/9, 10/24-11/22, 11/15-12/14 5/9- 2/9- 2/10-3/31 12/6 3/8	1 3 4 8 2 5 4 16
資格取得研修	11 資格取得など 1 大型自動車運転免許 (新規) 2 潜水士免許 (新規) 3 2級小型船舶操縦士免許 (更新講習) 4 危険物取扱者保安講習 5 予防技術資格者 (新規)	5/18-取得まで 5/30, 31, 6/14 11/5, 12/3, 12/11, 12/17 7/5, 10/5, 11/16 2/26	7 2 6 5 7
視察研修	12 総務省消防庁主催 国際消防救助隊の実践的訓練 先進都市視察 静岡県沼津市 新潟県新潟市 東京都 日本消防会館	10/28-21 6/30 10/17-19 7/30, 31	2 2 1 1

消防プリセプターシッププログラム

プリセプター研修について

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

消防プリセプターシッププログラム策定の目的

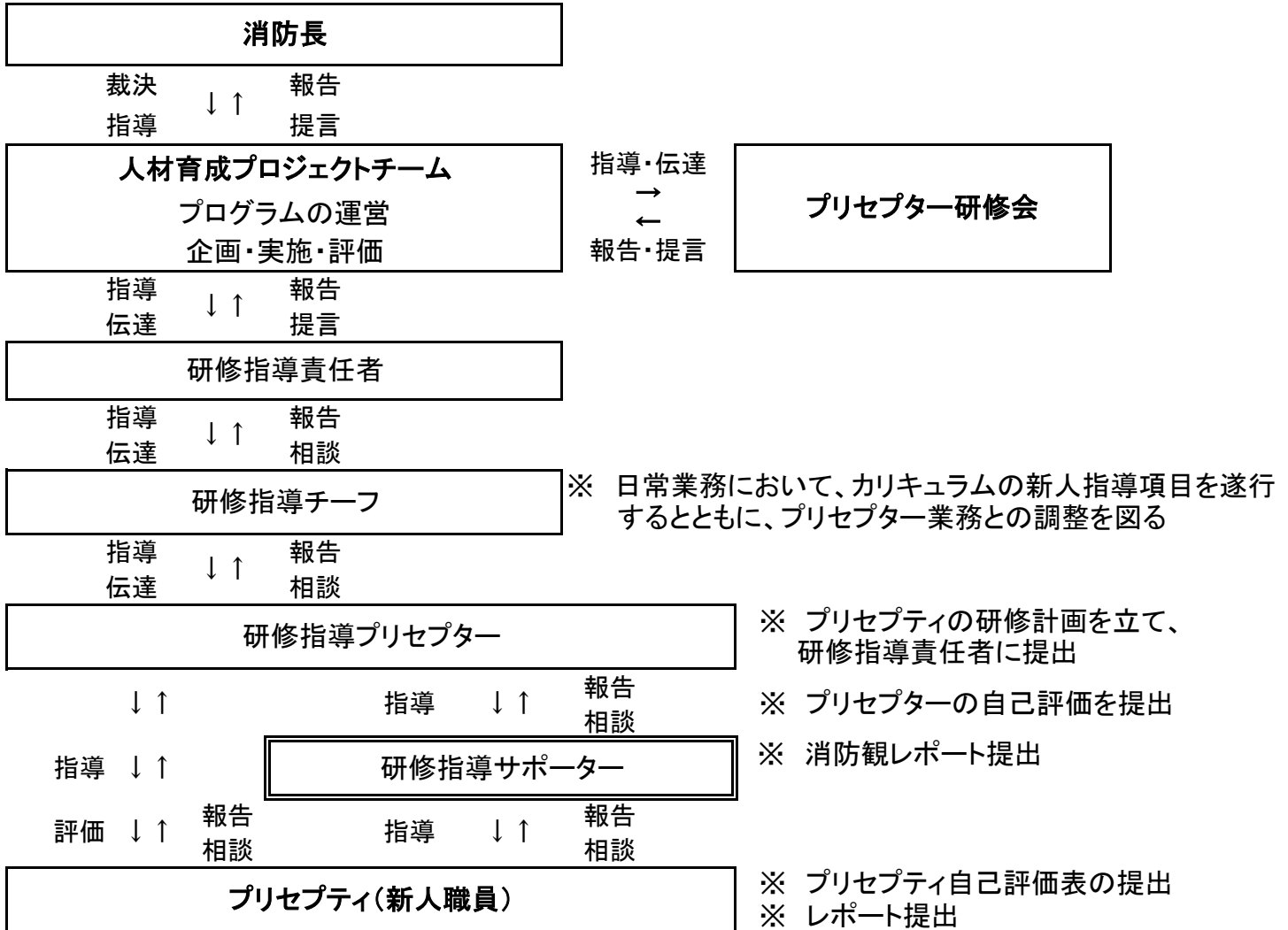
- 1 消防学校を卒業した新人消防士(プリセプティ)に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
- 2 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- 3 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- 1 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- 2 目的の3については、分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。

プログラムの管理運営

- 1 プログラムの管理責任 消防長
- 2 プログラムの管理運営体制



3 プログラムの運営

「人材育成プロジェクトチーム」

1) 構成

責任者 総務課長
委員長 政策推進監

2) 機能

- ① 研修プログラムの運営(企画・実施・評価)を行う。
- ② 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行う。
- ③ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- ④ プリセプター研究会(隔月1回)が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- ⑤ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき研修目標に対する達成度を評価する。
- ⑥ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

4 各部署の指導体制

「新人職員人材育成体制」のとおり。

消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談に対し、助言・指導する。
	新人職員が属する系の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する系の消防士長以上で、所属長が指名する。	プリセプティーに対する研修指導担当者で、プリセプティー1人に対し、プリセプター1人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する系の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から毎月実施、4月以降3ヶ月に1回実施	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

平成23年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
23	4	7	初任科生入校 於: 三重県消防学校 第48期生 4名が入校、12月1日卒業	8	三重県消防職員意見発表会 於: 伊賀市
		16.17	防火管理講習 甲種防火管理新規講習117名、乙種防火管理講習12名が受講	11	第1回三重県図上訓練 於: 三重県庁
		18	防災管理講習 防災管理新規講習29名が受講	19	三重県内高速道路消防連絡協議会(全員協議会)
	6	1~30	危険物安全管理強調月間 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立入検査及び消防訓練を実施		
		6	優良危険物事業所表彰 平成23年度優良危険物事業所の4事業所を消防長表彰		
		28.29.30	防火管理講習 甲種防火管理再講習14名、甲種防火管理新規講習93名が受講	23	消防安全衛生委員会
	7	11	安全講演会 『緊急自動車における緊急走行時の安全対策について』 講師: 四日市南警察		
		17	第48回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ 於: 中央緑地公園 25分団が出場し競技を実施 第1位: 水沢分団 第2位: 保々分団 第3位: 神前分団	29	愛知県消防通信連絡協議会総会 於: 名古屋市市役所
	8			5	消防長研修会 『消防幹部としての心構えと実践について』 於: 桑名市消防本部
		27	市民総ぐるみ総合防災訓練 於: 中部中学校	11	第2回三重県図上訓練 於: 三重県庁 第40回消防救助技術東海地区指導会 於: 三重県消防学校 【中止】 第40回全国消防救助技術大会 於: 埼玉県 【中止】
	9	1	石油コンビナート・海上防災訓練 於: 協和発酵ケミカル四日市工場 午起製造所及び周辺海域	4	三重県総合防災訓練 於: 名張・上野市
	10			6	第8回三重県警防技術交換会 於: 三重県消防学校

			12	三重県内高速道路消防連絡協議会(研修会) 於:三重県消防学校	
		19.2	防火管理講習 甲種防火管理新規講習105名、乙種防火管理講習20名が受講	14,15	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 於:静岡県静岡市ほか
11	1	1	安全講演会 『消防活動における安全管理』 講師:名古屋市消防局	17,18,27	警防救助技術発表会
		5	防火ポスター・防火習字の入選者の表彰 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式を実施。	29,30	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 於:徳島県小松島市
		9~15	秋の火災予防運動		
		9	特別消防訓練 於:パワーシティ	17	三重県内高速道路消防連絡協議会(訓練) 於:みえ川越インター
12	29~30		年末特別警戒		
24	1	8	平成24年消防出初式 於:四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施	8	朝日町・川越町合同出初式 於:川越町
		26	第57回文化財防火デー 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施	16	三重県国民保護図上訓練 於:三重県庁
	2	8.9.10	防火管理講習 甲種防火管理再講習20名、甲種防火管理新規講習106名、乙種防火管理講習12名が受講	31.1.3	警防技術競練会 9 第3回三重県図上訓練 於:三重県庁
		21	特別消防訓練 於:近鉄百貨店 四日市店		
	3	1~7	春の火災予防運動		

平成24年度消防重点事業

安全で安心なまちづくりに向け、消防力の強化・消防救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の向上を図ります。

また、東日本大震災の教訓を踏まえ、コンビナートの防災対策をより一層推進するとともに、大規模災害発生時における初動体制の強化を図ります。

このことから、火災の延焼防止及び救命率の向上並びに各種災害に迅速かつ的確に対応するため、年次計画に基づく車両更新及び消防分団車庫の改築等を行うとともに、消防救急無線のデジタル化への整備を推進します。

その他、救急救命士の養成など、救急業務の高度化を推進するとともに、耐震性貯水槽の整備を図ります。

1. 消防車両配備・更新事業について

中消防署の水槽付消防ポンプ自動車の更新にあたり、消防車両の機能を強化するため、化学消火機能及び圧縮空気泡消火装置を兼ね備えた多機能型の車両を導入します。

さらに、北西出張所の消防ポンプ自動車及び小山田分団の消防分団車を更新するとともに、中消防署及び西分署に配備されている高規格救急自動車を更新します。

2. 消防分団等整備事業について

昭和53年建築の河原田分団車庫を移転改築するとともに、小山田分団車庫の改修を行います。また、災害活動時における消防団員の安全を確保するための資機材を整備します。

3. 消防救急無線デジタル化整備事業について

平成28年5月末の消防救急無線アナログ周波数の使用期限に向け、従来のアナログ方式からデジタル方式へと更新する必要があるため、平成24年度は共通波(全国の消防車と通信可能)の整備を行います。

4. 救急業務の高度化事業について

平成4年度から救急救命士の養成を開始し、現在、救急救命士として51名の職員を各消防署等へ配置しています。救急車に常に救急救命士を配置できる体制と救急管理部門の強化を図るため、新たに5名の救急救命士を養成します。

5. コンビナート防災対策事業について

東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模災害時におけるコンビナート事業所との情報連絡体制の強化を図るため、新たに無線通信設備を導入し通信体制の整備を図ります。

6. 耐震性貯水槽整備事業について

大規模災害時における消防水利を確保するため、地下式耐震性貯水槽を整備します。平成24年度は北山町及び桜町地内に60トン型の耐震性貯水槽を設置します。

相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎよ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町長、5消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶に関する業務協定	昭和46年5月24日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

(3) 高速道路における消防応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線、名古屋・神戸線、伊勢線及び尾鷲勢和線にかかる消防相互応援協定	平成20年2月23日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合